



小中教員を対象に、海事産業施設見学と意見交換会を実施

～神戸市立中学校教育研究会の臨地研修で～

平成29年3月31日付で学習指導要領が改訂され、今後、我が国における海運の重要性を、小中学生に対して学校で教育することになりました。

これを受けて神戸運輸監理部では、海事産業の現状を理解してもらうとともに、将来、貿易や海運の重要性を学校の現場で教育することとなった際の海事行政が果たすべき役割を探究することを目的に、8月3日、神戸市内の小中学校の教職員が実施している「臨地研修」で、海事産業施設見学と意見交換会を実施しました。

【臨地研修の概要】

1. 実施日時 平成29年8月3日（木）12：45～16：30
2. 実施場所 宮崎カーフェリー株式会社、金川造船株式会社、神戸運輸監理部
3. 参加者 神戸市の中学校教員7名・小学校教員6名・支援学校教員1名 計14名
4. 実施内容
 - こうべエクスプレスの見学
 - ・車両甲板、客室、エンジンルーム及びブリッジ等を見学
 - ・乗組員から船員の業務や勤務体制を説明
 - 金川造船吉田工場の見学
 - ・製造工程や自動切断機等の工作機械を見学
 - 意見交換会
 - ・学習指導要領改訂の概要を説明
 - ・国土交通省の海洋教育（海事教育）に関する取組を紹介
 - ・参加者アンケートを実施
 - ・トライやるウィーク等の機会を通じて、海事産業の体験学習を希望する等、教員から希望や提案があった



配布先
神戸海運記者クラブ

問い合わせ先
神戸運輸監理部 海事振興部
担当：戸井、加藤
電話：078-321-3149（直通）